

財団法人 8020 推進財団

平成 20 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：平塚市子育て支援歯科保健事業「はははプラン」

2. 申請者名：社団法人平塚歯科医師会会長 有近徳幸

3. 実施組織：平塚歯科医師会

4. 事業の概要：

社団法人平塚歯科医師会では平成 19 年度より、平塚市、平塚市医師会、昭和大学歯学部小児成育歯科学教室、神奈川県歯科衛生士会湘南支部平塚ブロックの協力を得て、“歯を通じた子育て支援”を目的とする「平塚市子育て支援歯科保健事業（はははプラン）」を実施している。本年度事業は①妊産婦歯科説明会、②ははは手帳配布、③モデル健診の実施、④妊産婦歯科セミナーの 4 つの部分からなり、母子保健対策事業検討委員会が管轄した。

5. 事業の内容：

母子保健対策事業検討委員会同委員会は歯科医師、医師、行政担当者、学識経験者の 11 名により構成され、平成 20 年度の開催回数は 8 回であった。

妊産婦歯科説明会は平成 20 年 5 月 27 日(火)に開催され、歯科医師・行政母子保健事業関係者など合計 59 名が出席した。

「ははは手帳」を平塚市役所において母子健康手帳交付時におよそ 2,200 部配布した。

モデル健診では妊産婦の歯科検診・保健指導・相談を実施した。受診者は 65 名であった。

妊産婦歯科セミナーは平成 21 年 2 月 10 日(火)に開催され、歯科医師・行政母子保健事業関係者など合計 64 名が出席した。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

妊産婦歯科説明会で本事業の目的・内容を説明した後に健診協力歯科医の募集を行い、38 名という多数の応募があった。これは、本事業に対する歯科医師側の期待の表れと考えられる。しかし、モデル健診後の受診者へのアンケートを見ると、事業に関しては概ね好意的な意見であったが、健診協力医個々の対応に関する苦言が若干あった。これは、本健診の対象者が妊産婦という特殊な時期の人たちだということに対しての、歯科医師の理解不足と考えられた。そこで、健診の実施状況やアンケート内容の説明とともに妊婦の特殊性を解説するセミナーを開催し、多くの出席者を得た。このセミナーを通じ、妊娠期の特性と対応方法への理解が深まったと考えている。また、受診者数に関しては、産婦人科との連携を図るなど周知方法にさらなる工夫が必要と思われた。